



# SSH 通信



広島大学附属高等学校

SSH 通信作成委員

2026 年度 第 3 号

2026 年 8 月 25 日発行

皆さんこんにちは。2026 年度の SSH 通信作成委員です。この SSH 通信 第 3 号では、1 学期に実施された高校 I 年生の「イノベティブサイエンス講義 第 1 回」と高校 II 年生の「全国バーチャル課題研究発表会」の様子についてお知らせします。

## <イノベティブサイエンス講義 第 1 回：高 I 6 月 10 日（水）>

### 【概要】

高 I 生を対象に、広島大学産学連携部の有馬実希様、野口徹様に来校いただき、「自分の将来について考えよう」という題目で講義を行っていただきました。企業勤務と研究者という異なる経歴を歩んでこられた、お二人のこれまでのキャリアを振り返っていただき、なにを軸にキャリアの選択を行ってきたかについてお話いただきました。特に、「好き」が未来を選ぶセンサーだというメッセージは、これから自分の進路と向き合う際のキーワードになりそうです。この講義を通して、高 I 生はこれからの AS・GS の選択、大学進学などの人生の選択について考え始める機会となりました。



### 【学び】

- ・今日の講義では、自分たちの今と将来のつながりについて考えた。有馬さんは、学生の頃好きだったことからやりたいことにつながり、詳しくなることでほかの道も知ったことが、今につながっていると話されていた。野口さんは、昔自分が気になったことがやりたいことになり、それに一生懸命向き合っていたらいいと思う。自分の素朴な興味や疑問を大切にしながら、本当にやりたいことを見つけるために頑張りたいと思った。
- ・大学や職場で学べることを知ることができる機会が少ないので、具体的な話を聞くことができて嬉しかったです。お話を聞く中で、大学や職というのは決してゴールではなく、そこで新たに学び、自分の「好き」を見つけていけるのだと分かりました。今後は、時間を見つけて自分のやりたいことについて考えてみます。（講師の方が勧めてくださった）むらすすめも食べてみます。

## <全国バーチャル課題研究発表会：高 II 7 月 16 日（木）>

### 【概要】

この発表会は、研究の初期段階から現在までの状況をオンラインで発表し、他校の生徒との質疑応答を通じて研究を発展させることを目的として開催されました。研究しているそれぞれの分野に分かれ、約 7 分の発表を聞き合いました。普段直接関わることでできない、様々な場所の生徒同士で交流することができ、研究に対するモチベーションが高まりました。他校の発表に対しては積極的に質問をし、それぞれが今後の発表に役立つ有意義な会となりました。

### 【学び】

- ・同じ分野でも、着眼点により様々な研究テーマがあり、それぞれが目的に応じた実験方法やデータの示し方を工夫していることが印象に残りました。また、結果だけではなく、考察や今後の計画までわかりやすくまとめられており、自分たちもこれから研究を進めていく上で、多くの学びを得ることができました。
- ・自分たちもグループで協力しながら、他校の発表に対して積極的に質問することができました。質問を通して研究内容への理解を深めるとともに、研究を多角的に捉えることの大切さを学びました。

第 4 号では、高校 I 年生の「イノベティブサイエンス講義」や「フロンティアサイエンス講義」について紹介する予定です。